

3月8日は国際女性デー

～ ジェンダー平等の社会の実現をめざして～

☎生涯学習課人権・同和教育係 ☎0943-32-0093

国際女性デー

国連は、1975年（国際婦人年）に3月8日を「国際女性デー」と定め、1977年の国連総会で「国際女性デー」が決議されました。

国際女性デーは、女性の社会的・経済的・文化的・政治的な功績をたたえ、ジェンダー平等の実現を呼びかける国際的な取り組みです。

今年のテーマは「Give to Gain」

日本語で「与えて得る」を意味し、知識や経験を分かち合うことで、社会全体に新しくつながりや力が生まれていくことを示しています。

与えることは減ることではなく「つながり」を生み、その循環こそが、ジェンダー平等を実現する原動力になることを呼びかけています。

ジェンダーとは？

生物学的な性別とは異なり、社会的・文化的に形成された

性別のことを指します。

女性・男性という2つの性別だけでなく、どちらにも分類されない、あるいはどちらにも分類できるなど、多様なセクシュアリティへの固定観念も含まれます。

ジェンダーギャップとは？

「男はこうあるべき」「女はこうあるべき」など、性別の違いで生じる格差や不平等を意味します。

職場や家庭だけでなく、学校や社会のさまざまな場面に存在します。教育機会の差や働き方の違い、意思決定の場での差など、あらゆる場面で現れます。

ジェンダーギャップ指数

世界経済フォーラムが毎年発表する報告書、「グローバル・ジェンダーギャップレポート」に基づいて算出される指数のことです。性別による格差を、経済・教育・健康・政治の4分野、14項目から測定し、各国のジェンダー平等

に関する状況を数値化しています。

0～1のスコアで表され、0＝完全なジェンダー不平等、1＝完全なジェンダー平等の状態を示しています。数値が1に近いほど、性別間における格差が小さいことを意味しています。

2025年版 日本のジェンダーギャップ指数

評価分野	前回の順位	2025年の順位	指数
経済	112	120	0.613
教育	72	66	0.994
健康	58	50	0.973
政治	113	125	0.085
総合	118	118	0.666

※世界経済フォーラム「グローバル・ジェンダー・ギャップ報告書（2025）」より

あなたはこの結果をどう考えますか？

昨年のジェンダーギャップ指数で、日本は148か国

中、118位の結果となりました。特に、経済と政治の分野で格差が大きい状況となっています。

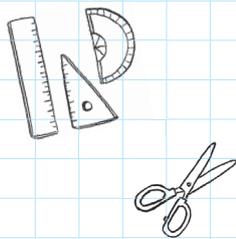
ジェンダー平等の社会を実現すべく、福岡県では次のような重点方針を掲げ、具体的な取り組みを行っています。
・女性に選ばれ、女性が活躍できる地域づくり

・すべての人が希望に応じて働くことができる環境づくり
・あらゆる分野の意思決定層における女性の参画拡大

私たちにできること

家庭では、家事や育児の分担を話し合う。職場や学校では、性別に関係なく意見や成果を評価する。以上のように身近なところで私たちにできることは多くあります。このような行動が、ジェンダー不平等を少しずつ減らす力になるのです。

日ごろから意識して行動し、「みんなが自分らしく生きられる社会」をつくりませんか？



学校教育

☎子ども課学校教育係 ☎0943-32-1194

体力・運動能力
調査と運動習慣
調査の結果

昨年4～7月、スポーツ庁が全国の小学5年生と中学2年生を対象に「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」を行いました。

体力・運動能力調査の広川町の結果

全国平均と比較してお知らせします。(表1、表2参照)

運動習慣調査の広川町の結果

子どもの体力・運動能力の課題を分析し、今後の教育施策に役立てることを目的に、運動や健康に対する意識・習慣調査を行いました。

小学校・中学校共に、男子が全国的に全国平均を上回りましたが、女子は多くの項目で下回りました。

小学校では、特に「平日3時間以上テレビやパソコンなどの画面を見ている」などの生活習慣の項目に課題が見られました。中学校も同様に、「朝食を毎日食べる」などの生活習慣の項目に課題が見られました。

表1 広川町の小学5年生・中学2年生の体格 ※ () 内は全国差

	小学5年生		中学2年生	
	男子	女子	男子	女子
身長 [cm]	137.83 (-1.70)	141.71 (+0.90)	160.30 (-1.01)	155.53 (+0.47)
体重 [kg]	34.38 (-0.63)	35.71 (+1.01)	50.79 (+0.68)	46.79 (-0.09)
正常値出現率 [%] 肥満・痩せ傾向ではない 児童・生徒の割合	84.40 (+0.40)	89.70 (+2.60)	85.50 (-1.20)	91.80 (+3.30)

表2 広川町の小学5年生・中学2年生の体力・運動能力 ※ () 内は全国差 ※ 50メートル走は数値(秒)が少ないほど上位

	小学5年生		中学2年生	
	男子	女子	男子	女子
握力 [kg] 筋力	16.28 (+0.32)	16.03 (+0.42)	32.95 (+4.00)	24.50 (+1.35)
上体起こし [回] 筋パワー	21.68 (+2.22)	19.12 (+0.76)	27.14 (+1.05)	21.79 (+0.09)
長座体前屈 [cm] 柔軟性	33.00 (-0.88)	35.77 (-2.38)	45.01 (-0.11)	44.82 (-2.17)
反復横跳び [点] 敏しょう性	42.76 (+1.87)	40.09 (+1.39)	53.60 (+1.96)	46.30 (+0.56)
シャトルラン [回] 全身持久力	52.24 (+4.30)	41.45 (+4.60)	84.10 (+5.28)	53.35 (+2.75)
50メートル走 [秒] 疾走能力	9.28 (-0.18)	9.96 (+0.19)	7.67 (-0.33)	8.68 (-0.29)
立ち幅跳び [cm] 跳躍能力	163.04 (+12.11)	146.66 (+4.32)	210.73 (+13.22)	179.86 (+13.42)
ソフトボール投げ [m] 投球能力	23.07 (+2.01)	13.23 (+0.12)	—	—
ハンドボール投げ [m] 投球能力	—	—	21.54 (+0.80)	11.51 (-0.92)
体力合計点 [点] 8種目の成績を1～10点に 得点化した合計点数	55.85 (+2.83)	54.96 (+0.99)	45.94 (+3.74)	49.35 (+1.77)